こころにのこる音楽をみんなで・・・
京都音楽センター NEWS

●発行
㈱京都音楽センター
〒604-8481 京都市中京区
西ノ京冷泉町 118-3
Tel.075-822-3437
Fax.075-822-3439

原やんのうた

初心に帰らせてくれた歌たち

時田　裕二

私が、原田義雄さんの名前を初めて聞いたのは、大学一年の時なので、約三〇年前になります。立命館大学の二部（夜間）で「うたごえサークル」に入り、そこで出会った一曲「みんなのうた」の作者が原田さんでした。

♪いつかまた会おう
今日のようにうたいながら
いつかまた会おう
すばらしい仲間と♪

と歌いながら、仲間と心を通わせ会ったのを昨日のことのように思い出します。

原田さんがどんな方か知らないまま時は過ぎ、初めてお会いしたのが約一〇年前。原田さんが作った曲「あるがままに」をレコーディングすることになり、スタッフの一人として同席させてもらったのが最初の出会いでした。

この時、原田さんはすでに目が不自由でしたが、ピアノを弾き、ギターも弾いて演奏の指導をされました。

そんな原田さんの姿に、音楽と気持ちの両方を大切にする姿勢を学び、「うたごえ」に初めてで出会ったころの初心を思い出していました。

その原田さんが「原やんのうた」という十四曲収録のアルバムを出版されました。

早速聞かせてもらったのですが、私の一番のお気に入りは「ヨッちゃんの仕事」

楽しくはたらくヨッちゃんの姿が楽しく歌われているのですが、最後に…

♪ボクの仕事の法律がかわりました
ぼくらが仕事をするためには利用料がいるんです
給料は一五〇〇円
利用料は五〇〇〇円♪

と矛盾を突きつけます。これを聞いて音楽はスゴイと思いました。

一時間かけて演説しても伝わりにくいことを、四分弱の歌が伝えることもあるのだと感心しました。

「夢を語るとき」では

♪夢を語るとき
早すぎることはない
かみしめて　かみしめて
今を生きよう
夢を語るとき
遅すぎることはない
大切に　大切に
今を生きよう♪

と生きる喜びを歌います。

今回のアルバムの選曲をみると、どの曲も人間の尊厳や誇りを歌い、人間の本質に迫るもののように思えます。

あなたがいまここにいることは、決して無駄なことじゃなく、大切な大切な誰かの役に立っているのだよ。

あなたの仕事も、あなたの生命も大切な大切なもので、誰かの生命や尊厳がおろそかに扱われるとき、周りの僕たちは精一杯手をつないで生命や尊厳を守らないといけない…。そんなことを考えさせてくれます。

原田さんは、今回のアルバムで『復興』や『絆』を声高に叫ぶことは選ばず、放射能汚染で誰にも食べられることがないとわかっていながらもお米を作らずにいられなかった農民の悔しさや、一人息子を過労死で奪われた母の悲しさなど、理不尽な悔しさや悲しさを体験しながらも、それでもなお限りなく人を愛し、信じたいと思う人間の心を歌い上げたのだと思います。

偶然出会った歌が人の心を動かし生き方さえも変えてしまうことがあります。

私にとってこの一枚は、文化や音楽のすばらしさと力を改めて知るステキなアルバムでした。と、同時にたくさんの方に聴いて欲しい一枚です。

そんな、原田さんのコンサートを各地でぜひ企画して欲しいと願っています。

京都音楽センター コンサート情報

お申し込みは
京都音楽センターへ
TEL.075-822-3437

みやこ&ようこ 気軽にミニ・Mini・ライブ

日　時：2012年10月20日（土） 17:30開場（食事は18:30までできます）
　　18：30−20：20／途中20分程度の休憩があります。
入場料：1500円（1ドリンクとクッキー付き／休憩の間にお楽しみいただきます）
会　場：喫茶ほっとはあと（京都市営地下鉄「西大路御池駅③番出口すぐ）
出　演：みやこ（和田みや子）／ようこ（長曽葉子）／Akkun（廣岡明郎）
※10月の次は12月22日（土）を予定しています。

ケロポンズ・ファミリーコンサート

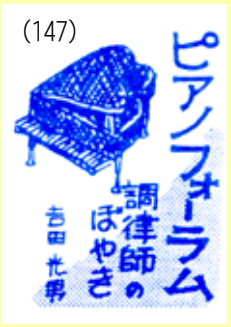
日　時：2012年12月8日（土） 18：30開演（開場は18：00）
会　場：京都府立府民ホール「アルティ」（地下鉄「今出川駅」下車徒歩5分）
入場料：3500円（全席指定・当日4000円）
※恒例！　年末のケロポンズコンサート。
　チケットは10月2日より一般発売開始。

ながそようこ・プチライブ Part Ⅱ

日　時：2013年2月11日（月・祝） 14:00受付開始／14:30-16:00
会　場：京都国際交流会館（京都市営地下鉄「蹴上」駅下車徒歩6分）
入場料：2500円（当日は3000円）　　主催：京都音楽センター
※「せんせ いっしょにうたお〜」「せんせいだいすき」でおなじみの「ながそようこ」のライブ。
　今年の1月に開催し大好評だった「プチライブ」を、来年2月に開催決定です！
「手あそび」「一緒に歌う」「じっくり聴く」と、いっぱい楽しめます。ぜひお越しください。

京都音楽センター
ピアノサービス部門

■ピアノフォーラム　吉田光男　（社団法人日本調律師協会会員）
・ピアノ調律・修理・販売・音楽教室　TEL075-811-8634　FAX075－822－3439
・E-mail/stimmer@mbox.kyoto-inet.or.jp

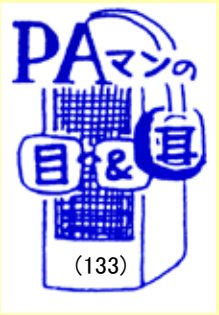


十年ほど前のこと、中国人女性のヴァイオリニストに関わった時、調律した後もスタッフとして裏方を手伝っていた。演奏の合間のトークが新鮮だったので今でも覚えている。

ヴァイオリンへ進んだ生い立ちの話だが、文化大革命のさなか、音楽好きの父の奨めでヴァイオリンを始めた。楽器も楽譜も売っていない。知人から譲ってもらった大人用サイズの楽器を、はがして切って貼り付けて小さくしてくれたが、鳴らないしはがれるで苦労したこと。楽譜は父がすべて手書きで写譜してくれた。レッスンは一日に一本しかない列車に3時間乗って通った。いつも満員で座れない列車だが「演奏してくれたら電車賃はタダにしてあげる」と言われて放送室の椅子に座らせてもらい演奏していた、という話。

西洋音楽も否定しようとした文化大革命であったが、人々は少女のつたない演奏でも暖かく耳を傾けるほど文化に飢えていたのだろうと、想像する。今、尖閣諸島をめぐる中国の動きはどうだ。デモに乗じて略奪や破壊を黙認する経済大国第2位になった国のお粗末さ。

文化を否定し破壊を行った文化大革命の精神は、独裁政権の座に就く者たちにはまだ残っていると思うのは、私だけだろうか。



「岸野たまき」という若い（？）バイオリン奏者がいます。もともとは、彼女が中学生の頃に所属していた和太鼓チーム「祭っ娘」で出会ったこともあり、彼女がバイオリン奏者（もちろんプロ）として活躍しているのはそんなに知らなかったのです。

その「たまき」から久しぶりに連絡があって、「相談にのって欲しい」と…。

話を聞くと、「演奏を頼まれたのだけど、小学校の体育館での演奏なので、音響はどうしたら良いか教えて欲しい…」と言うことでした。「どうしたらよいか」というより、要は「機材持って来い」と言うことやんな（笑）と思ったので、「スケジュール空けて行くわ」と返事。いくつか主催者に頼んで欲しいことを伝えて当日を迎えました。

本番は7月27日。そうです。7月～8月の体育館はとっても暑く、汗だくで準備を行いました。

この日はピアノとバイオリンの2名での演奏だったのですが、リハーサルも全曲やりたいと言うことで演奏者も汗だくになりながらリハーサルを進めました。

気の毒に思われた主催者が扇風機をいくつも持ってきてステージ付近に並べてくださいました。

約90分のリハーサルを終えて控え室へ。控え室はクーラーが効いて快適で、冷たい飲み物も準備してくださり、もう体育館には戻りたくない状態に（笑）

早めの夕食（弁当）をいただきながら、リハーサルで不都合がなかったか確認。演奏者からは「とってもやりやすくて嬉しい」とお褒めの言葉をいただき一安心。でもあとで聞くと、ボクが音響を担当したので、「たまき」はとっても緊張していて、それどころじゃなかったみたいです。

楽しいトークと、ステキな演奏が続き、お客さんも喜んでくださいました。

無事に本番が終わり、出演者は控え室へ。ボクは一人で後かたづけ。主催者は、並べた椅子や、床に敷いたシートを片づけて、一足先に会場を出られました。

一人残されたので早く片づけなくっちゃと、急いで積みこみ。最後に学校と主催者、それから演奏者にあいさつをと校内を探したものの誰もいません。もちろん控え室も真っ暗。仕方なく、職員室に残っておられた先生にあいさつして学校を後にしました。

トラックを走らせて約10分。たまきから「どこにいてはるの？」と電話が…。どうやら、控え室が真っ暗に見えたのは、着替えのためカーテンを閉めていたからだと判明。

結局、後日改めてピアニストと2人で事務所にお礼に来てくれて、いろんなお話をさせてもらいました。

本当にとっても気持ちの良い2人で、また一緒に仕事がしたいと思いました。

音響が必要なときはぜひ呼んでね。

（Y・T）

原田義雄さんに演奏の機会を！

イベントゲスト・集会での文化行事に・もちろんコンサートでも

30分～90分までご希望の時間での出演が可能です。
演奏形態も、本人1人での演奏（ギターの弾き語り）／本人＋伴奏者1名の2名での演奏／
バンドでの演奏と様々な演奏形態が可能です。
原田さんの演奏は、◎みんなの気持ちを一つにします。◎優しい気持ちになれます。
◎がんばる気持ちが湧いてきます。
そんな原田さんの演奏の機会を創ってください!! 京都音楽センターが全力でサポートします!

太田真季さんが、歌手生活４０周年を迎えました

百万本のバラ・うぐいす・メモリーなど、名曲でおなじみの太田真季さん

太田真季さんの演奏は、聞く人の気持ちを豊かにします。
常に庶民の立場で、常に社会的弱者のために、常にゆたかに美しく歌い続けてきた「太田真季さん」が、歌手生活40周年を迎えました。
今改めて、「ありがとう」の思いを込めて歌う太田真季さんの演奏を、イベントや集会などでお使いください。

「原田義雄さん」「太田真季さん」の出演のお問い合せ・お申込は…
京都音楽センターへ（TEL.075-822-3437・FAX.075-822-3439）

ホームページからの３０００円以上の注文は、送料がサービスです。是非ご利用ください。

京都音楽センター 出版案内

ご注文は、お電話（Tel.075-822-3437・Fax075-822-3439）かお葉書で、
ホームページ（http://www.wawawa.ne.jp）には他の商品も紹介しています。
お振り込みは郵便振替［01000-3-23000・京都音楽センター］へ

原田義雄 NEW アルバム

夢を語るとき 原やんのうた

CD 定価2500円（税込み）（送料 200 円）

【収録曲】
フライデー・レポート／そのまんま／人間の歌／畦つけうた／風のうた　ユバンキによせて／共に生きる町／ヨッちゃんの仕事／粉せっけんのうた／みんなのうた（コーラス Ver.）／いとし子よ／生きているということは／誇りを胸に／夢を語るとき／みんなのうた（ハングル Ver.）

「みんなのうた」「いとし子よ」でおなじみのシンガーソングライター「原田義雄」さんの、渾身の１枚。
限りなく人を愛し、信じるあなたに聴いて欲しいアルバムです。

太田真季 NEW アルバム

あなたへの Lullaby

CD 定価2500円（税込み）（送料 200 円）

【収録曲】
さくらんぼの実る頃／ Time To Say Goodbye（Con te partiro）／母三章　詩画集「風の旅」より 3つの母のうた～ばら・きく・たった一度だけ ～なずな～／ 星ものがたり／ 黒いひとみ（Dark Eyes）／ 何という胸の痛みだろうか／ わが心のアランフェス／ふきのとう／ 樫の樹／日本の子守唄から～ ねんねのお父さ（津軽地方の民謡）・おろろんおろろん（天草地方の民謡）・てぃんさぐぬ花／私の子どもたちへ／やさしかったひとに／翼

今だからこそ聴きたい歌がある！　東北で生まれた民謡の心をお聴きください

故郷の民(たみ)の謡(うた)が聴こえる

心を紡ぐ　東北の民謡

CD 定価2500円（税込み）（送料 200 円）

【収録曲】詰木石節（北海道民謡）／銭吹き唄（宮城県民謡）／さいたら節（宮城県民謡）／遠島甚句（旧節）（宮城県民謡）／唄い上げ（宮城県民謡）／えんころ節（宮城県民謡）／畦打ち唄（宮城県民謡）／北上川櫓こぎ唄（宮城県民謡）／石切唄（山形県民謡）／最上川船唄（山形県民謡）／相馬土搗き唄（福島県民謡）／宮城長持ち唄（宮城県民謡）／さんさ時雨（宮城県民謡）／仙台松坂（宮城県民謡）／南部牛追唄（岩手県民謡）／夏の山唄（宮城県民謡）／キビタキの森

今回の収録で強く感じたことがあります。それは、民衆がうたい継いできた民謡は、その土地ならではの想いを紡いでゆるぎなく、とても大きい「モノ」であるということでした。（ディレクター・三浦恒夫）

楽譜集「荒木栄　作品全集」

定価2000円（税込み）（送料 290 円）

没 50 年を迎えた労働者作曲家・荒木栄。
かねてより再販のご要望の多かった楽譜集の全曲に加え、
貴重な編曲楽譜等を新たに掲載。

◎主な収録曲＝わが母のうた／炭坑ばやし／星よお前は／沖縄を返せ／手／三池の主婦の子守歌／がんばろう／心はいつも夜明けだ／労働者はまだ／この勝利ひびけとどろけ／大行進のうた／どんと来い／おれたちの胸の火は／仲間のうた／花をおくろう／地底のうた／もやせ闘魂／夜明けだ／憎しみの中から／子どもを守るうた／ほか